

授業科目名： 保育内容の指導法（環境）	教員の免許状取得のため の必修科目	単位数： 2 単位	担当教員名：田中 たなか 純江 すみえ
			担当形態：単独
科 目	領域及び保育内容の指導法に関する科目		
実務内容 （実務家教員の場合）	小学校教諭としての勤務経験を持つ教員が、領域「環境」における指導計画の作成、学習指導案の作成について指導する。		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	保育内容の指導法（環境）（情報機器及び教材の活用を含む）		
「学位授与の方針」との関係 星槎大学ディプロマポリシーA～F			
授業の到達目標及びテーマ （１）幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「環境」のねらいおよび内容を理解する。 （２）幼児の発達を理解し、具体的に保育を構想し指導する方法を身に付ける。 （３）具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。			
授業の概要 幼稚園教育の基本をふまえ、領域「環境」のねらいおよび内容を理解する。幼児の発達に即して、環境を活かし深い学びを目指した保育を構想し、保育に活用する方法を身に付ける。情報機器について、効果的に用いる方法を理解し、保育構想に活用する方法を身に付ける。 スクーリングでは、すべての内容を包括的に取り上げる。各自が構想した保育の指導案作成を通して、指導案の構成を学ぶ。どのような保育を実践すれば、幼児の主体的で多様な活動を引き出すことができるのかを、アクティブラーニングの手法も用いて探っていく。			
授業計画 第１回：幼稚教育の基本と保育内容「環境」 第２回：子どもの発達と、領域「環境」 第３回：領域「環境」のねらい、内容の展開の実際①（園内活動） 第４回：領域「環境」のねらい、内容の展開の実際②（園外活動） 第５回：幼児期の特性を理解し、具体的に保育を構想し指導する方法 第６回：自然に親しみ、動植物に触れる保育①（計画立案） 第７回：自然に親しみ、動植物に触れる保育②（体験実地） 第８回：標識・文字等に関わる保育（情報機器及び教材の活用を含む） 第９回：数量・図形等に関わる保育（情報機器及び教材の活用を含む） 第１０回：生活に関係の深い情報や施設に関わる保育（情報機器及び教材の活用を含む） 第１１回：指導案作成①（計画立案） 第１２回：指導案作成②（保育内容の精査） 第１３回：指導案作成③（書式に書き込む）			

第14回：指導案作成④（仕上げと意見交換）

第15回：環境に関わる現代的課題（SDGs、生物多様性、生態系、インクルーシブ教育、他）

科目修得試験

＊スクーリングではすべての内容について包括的に取り上げる。

教科書

『幼稚園教育要領解説』平成30年3月文部科学省 フレーベル館

参考文献

『幼稚園教育要領』〈平成29年告示〉フレーベル館

「保育内容 環境」神長美津子・堀越紀香・佐々木晃 編著 光生館

学生に対する評価

レポート評価（25％）、スクーリング評価（25％）、科目修得試験（50％）の割合で総合して評価する。